

国立研究開発法人水産研究・教育機構
平成 30 年度 契約監視委員会（第 4 回）議事概要

1. 日 時 平成 31 年 2 月 28 日（木） 14：00～16：00
2. 場 所 クイーンズタワー B 棟 7 階 D 会議室（神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3）
3. 出席者
委員長 蒲池 孝一 公認会計士
委 員 苑田 浩之 弁護士
委 員 林 義亮 神奈川新聞社 取締役論説主幹
委 員 森 哲哉 公認会計士
委 員 鈴木 孝 (研) 水産研究・教育機構 監事
委 員 檜山 義明 (研) 水産研究・教育機構 監事
水産研究・教育機構事務局
4. 議題 ①平成 30 年度第 2 四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果
②平成 30 年度第 2 四半期の契約の抽出案件
③その他

5. 議事概要

- ・議題①平成 30 年度第 2 四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果
平成 30 年度第 2 四半期の契約実績、競争性のない随意契約及び一者応札・応募の類型別内訳、類型別の平均応札者数及び平均落札率、入札等に関するアンケート調査の結果と、それを踏まえた入札改善策などについて、事務局から資料に基づき説明があった。
- ・議題②平成 30 年度第 2 四半期の契約の抽出案件
平成 30 年度第 2 四半期に締結された契約の中から委員により抽出された 11 件の契約について、事務局から契約内容の説明があり、それぞれ審議を行った。
各案件についての質疑応答は以下のとおり

(競争性のない随意契約)

練習船耕洋丸女子職員用浴室水漏れ補修等整備業務（水産大学校）

国際水産資源研究所所属漁業調査船俊鷹丸インマルサットアンテナ用架台支柱等及び煙突整備業務（国際水産資源研究所）

- 契約からドック入渠までの間及びドック入渠時に発見された不良箇所の補修とのことだが、ドック自体の入札については、複数者の応札があったのか。
→耕洋丸については 5 者、俊鷹丸については 4 者の応札があった。

- ドック期間中に修繕箇所が見つかるのはいたし方ないが、ドック自体と突発的な修繕を一括して契約できるよう、ドック契約の仕様書に盛り込むことは難しいのか。
- ドック契約の仕様書に記載のある箇所について、見えない部分で修繕が必要になった場合は、ドック契約の変更契約を行うことで対応している。仕様書に記載のない箇所については、ドック期間中に他社が修繕を行うことは難しいため、ドック施工業者と随意契約を結んで対応している。
- ドック契約の仕様書に「修繕箇所発見の場合は契約変更を行う」といった記述を加えることで対応できれば、事務手続きの効率化、応札者の増加、落札価格の低減等が期待できる。検討をお願いしたい。

(競争性のない随意契約)

2 周波音響カメラ（水産工学研究所）

- 当該機器の使用目的と必要とする性能との関係如何。
- 仕様書の作成にあたっては、過去に購入した同種の機器の性能に、現在の研究に必要な性能を加味している。
- 仕様書を見ると、本機器の性能がかなり限定されているが、その性能が必要な理由についての情報がほとんどない。仕様内容と目的をリンクさせた記述をしてはどうか。
- 仕様書の作成にあたっては、過去に購入した同種の機器の性能に、現在の研究に必要な性能を加味している。その性能が必要な理由を仕様書から読み取ることはできないが、事前にその必要性を検討した上で仕様書を作成している。
- 物品・役務の調達にあたっては、各研究所に設置されている競争入札等推進委員会において事前審査を行っている。仕様書が実質的に特定の者、特定の機種に限定するような内容になっている場合は、それが真に研究に必要なものか審査している。今後も仕様書において、性能を必要以上に限定することのないよう努めていきたい。なお、仕様書は入札への参加を検討する業者向けのものであり、仕様書に各性能の必要性を示すことまでは必要ないと考えている。
- 仕様書には必要とする機能を過不足なく記入することが肝要である。性能を限定しないことが行き過ぎると、研究に真に必要なものが調達できないリスクがある。研究に必要な性能であれば、物品が特定されようとも仕様書に記載すべきではないか。
- この委員会において、各案件の契約形態が最も妥当なものとなっているかを審議する上で、それを判断するのに必要な材料を提出してほしい。

(競争性のない随意契約)

水産大学校所属漁業練習船天鷹丸 第2B種中間検査・臨時検査及び一般修繕

(本部船舶管理課)

- 大型船舶で非常に複雑という理由で随意契約としているのか。
- 船舶建造後一回目のドックは保証ドックと呼ばれており、航海で使用中に異常な発錆、振

動等が発生した場合は、建造業者の保証となる。契約書の中に瑕疵担保条項が設けられていて、隠れた瑕疵が発見された場合、建造業者が修繕することになっている。

○仮に一般競争入札を行うこととし、他社が落札することになったとしても、瑕疵が発見された場合は、瑕疵担保責任として修繕にかかる費用を建造業者に請求する方法もある。参考にしてほしい。

(一者応札)

キャピラリー電気泳動質量分析装置（中央水産研究所）

○一者応札の要因分析として、高額機器の場合、アフターサービスを行うことができる販売店が限定されるとのことであるが、入札説明書を受領した6者のうち、アフターサービスができる者は何者いたのか。

→応札者である1者しかいなかった。

(一者応札・高落札率)

水産大学校学生サポート棟新築工事（本部契約課）

○一者応札の改善方策として、可能な限り早期に発注予定情報を機構ホームページに掲載することのだが、どの程度早期に掲載することを想定しているのか。

→予算が確定した時点で速やかに発注予定情報を掲載することを考えている。

(公告期間・2年連続一者応札)

海洋水産資源開発事業（いか釣：日本海周辺）に係る用船（開発調査センター）

○事務手続き上の誤りで公告日数が短くなってしまったとのことであるが、その原因を明らかにした上で、再発を防止するようお願いする。

→既に総点検を行い、再発防止に努めている。

○海域、魚種の問題もあって制限はあるだろうが、応札者を増やす努力を継続してほしい。

→一者応札の解消に向けて努力していきたい。

(一者応札・高落札率)

中央水産研究所所属漁業調査船 蒼鷹丸 定期検査・臨時検査及び一般修繕

(本部船舶管理課)

○入札の経過を見ると、相当な回数の入札を行っている。予定価格と実勢価格の間に乖離があるのではないか。

→予定価格の積算方法は、他の船舶と同様であり、他船は1回で落札することも多い。予定価格と実勢価格の間に、それほどの乖離があるとは考えていない。

(一者応札・高落札率)

南極海における高精度海洋観測業務（国際水産資源研究所）

- 要求する仕様が厳しすぎるのではないか。事業の委託元と協議し、仕様を緩めることを検討してはどうか。
- 検討する。

(一者応札・落札率100%)

平成30年度海洋水産資源開発事業（底びき網（かけまわし）日本海北部海域）に係る 秋田県の底びき網漁獲物の品質評価研究委託（開発調査センター）

- 公示期間の延長が一者応札の改善方策であるとは思いますが、どのくらい期間を延長することが妥当と思うか。
- 開発調査センターでは、公示期間として20営業日を確保することを努力目標としている。
- 応札者が増加するよう引き続き努力してほしい。
- 説明会は開催しているか。
- 説明会は開催していないが、FAX等による質問の受け付けを行っている。
- いきなり応募とまではいかないが、説明会には参加したいという者は居るのではないか。
- 検討する。

(一者応札・高落札率)

財務会計システムの構築・移行・運用及び保守業務（本部契約課）

- 既存システムを継続すべき都合は理解するが、システムを一から構築の方が効率的であるとの見方がある。これは検討したか。
- 継続が必要なのはデータのみであることは仕様作成段階で承知している。
- 業者を限定するような仕様になっているのではないか。
- 市販アプリケーションを使うことも可とする仕様としており、特に、業者を限定するような仕様ではないと考えている。入札説明書は4者が受領している。
- 公告期間が短いことも一者応札の要因ではないか。汎用的なソフトウェアだと思うので、既存システムの仕様情報をホームページ等で公開し、情報の掲示期間を長くすることで、応札者を増やすことを検討してはどうか。
- 本件については、機構のホームページで事前に意見招請を行っており、実際の公告期間より情報掲示期間は長い。今後は、一者応札の改善方策として、長期の公告期間を確保するようにしていきたい。

・議題③その他

事務局から、次回の委員会の議題は、平成30年度調達合理化計画の自己評価及び平成31年度調達合理化計画の点検となる。平成31年5月下旬頃の開催を予定している旨の連絡があった。

最後に一委員から、競争入札においては、研究に必要な機能を担保したうえで、業者間の適正

な競争をうながすことが必須である。安価を追求したために研究を阻害した過去事例に学ぶべきである。必要条件を過不足なく仕様書に記述するために、組織内の双方向コミュニケーションをよくし、契約事務、競争入札推進委員会を合理的に進めるようお願いする旨の発言があった。